

「居宅訪問型児童発達支援」の創設

概要

児童発達支援等の障害児通所支援を受けるために外出をすることが著しく困難な重度の障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、生活能力向上のために必要な訓練等の支援を実施する。

対象

AかつC、又は、BかつC

A 重度の障害の状態

B (a)人工呼吸器を装着している状態その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある場合＝医療的ケア児

(b)重い疾病のため感染症にかかるおそれがある状態にある場合

C 児童発達支援等を受けるために外出することが著しく困難な障害児

人員基準

1 訪問支援員 事業規模に応じて訪問支援を行うために必要な数

※ 訪問支援員は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員若しくは保育士の資格を取得後又は児童指導員若しくは心理指導担当職員として配置された日以後、障害児に対する直接支援業務に3年以上従事した者とする。

2 児童発達支援管理責任者 1以上

基本報酬

居宅訪問型児童発達支援給付費（1日につき） 988単位